

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成21年11月号

編 集 大 井 利 夫
発 行 人 大 井 利 夫
〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受 付 時 間 9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月1日
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 社団法人 日本病院会 通信教育部

あらためて診療データの質の管理 (クォリティ・マネジメント) への期待

岡田 美保子

川崎医療福祉大学 医療情報学科 教授
岡山会場 専門課程(医療統計学) 講師

診療情報管理士のカリキュラムは平成14年度に大幅に改訂され、新カリキュラムに移りましたが、さまざまな改訂の中の一つとして、旧カリキュラムでは一教科であった「医療情報学」が、「医療情報学」と「医療統計学」という二つの教科になり、時間数にして倍になりました。「医療の情報化」が進む中で、診療情報管理士の専門性として、これらの領域の重要性が増していることを表すものであると思います。

蓄積された診療情報の活用の重要性が言われていますが、特に電子カルテの導入は、きめ細かい集計を可能にし、それまでは得られなかった貴重な病院管理資料の作成を可能にするなど、病院管理経営、医療の質の向上のため、診療情報管理士に情報活用の期待が寄せられています。ただし診療情報の活用はデータの質の保障を前提とした話です。そこで気になるのがデータの質(クォリティ)です。データ自体の質が低いようでは、クォリティ・インディケータも用いようがありません。

昔、コンピュータの分野で「ガーベージ・イン、ガーベージ・アウト(GIGO)」ということが言われました。いくら最新鋭のコンピュータでも、もとがガーベージ(ごみ)ならガーベージしか出てこないというわけです。このことは現代においてもまったく同様です。ついでに、最初に到着したデータを最初に処理する方式をFirst In First Out(FIFO)といますが、GIGOは、これをもじったものだと思います。そしてデータ・クォリティとは、という議論がなされ、データの質を表す特徴として「正確である」、「完全である(必要な項目が揃っている)」、「最新である(例えば古い版のコードが混在していない)」、「整合性がある(例えば全部署を通じて値の不一致がない)」、「時宜を得ている」などが纏められています。

質の高い診療データなくして医療情報化への期待に応えることはできないと思います。あらためて「データの質の管理」を期待してやみません。